

発行:「街かど談話室」まつばらんど 横浜市保土ヶ谷区宮田町1-8-1 川元ビル1階
発行責任者:古垣 直久

11月歳時記

月詠子

この月は霜月(しもつき)と呼ばれています。その年の収穫を感謝して食物月(をしもつき)が省略されたという説などがあります。より季節感を表している霜月になかなう月名はありません。

霜が降り始め、寒さが厳しくなる時節ですが、西の市は十一月の酉の日に鷲や鳥に所縁のある寺社で行われる行事です。もとは秋の収穫時の農産物が起源とされていますが、威勢よく売られる熊手に、人々は商売繁盛、家内安全、開運を祈願するお祭りになりました。この縁起熊手は、毎年ひと回り大きなものに買い換えていくのがよいとされ、値切るのが粋な買い方とされています。でも、そのまま安く買うのではなく、最初に言われた値段で支払い、値切った分を祝儀として気風良く渡すのです。お客もお店も周りの野次馬も手締めに参加して、西の市ならではの活気溢れる光景が展開されます。酉の日は十一月二日(土)に巡って来るので、今年十一月九日(火)と十一月二十一日(日)の二回です。



11月の誕生花

シクラメン



花ことば 「遠慮」「はにかみ」「内気」「気後れ」

デイサービス にじいろ 南浅間町施設 TEL:045.534.3905

貴方の近所やお隣に、空き家と思しき家がありますか。近年、街を歩いていると空き家やそれらしき家が目立つようになりまし。それらが目につくようになりまし、何か裏寂しい気持ちになりますし、街が徐々に衰退していくように感じられることがあると思います。

空き家の問題を考える

空き家相談士 水野圭三

ポジョレ・ヌーヴォーを世界に売り込んだフランスの醸造家ジョルジュ・デュブッフ氏と日本のワイン業者のイメージ戦略にまんまとはまったわけです。日本には「初物を食べる」と長生きする」ということわざがあるからいすから、「ポジョレ・ヌーヴォー」に関して、その大半が日本への輸出というのも頷けます。あまりワインに興味がなかった人も、何故かこの日は『ポジョレ・ヌーヴォーあります』という看板に足を止め、にわかワイン通になります。旬のものは、確かに私たちが元気にしてくれるパワーがあります。それは古今東西揺るぎない食文化に支えられています。ちなみに今年の解禁日は十一月十八日(木)です。縁起担ぎとともに、この限られた期間の自然の恵みを受取るのも悪くはありません。



まつばらんど川柳 万歩計 半分以上 探し物 LED 使い切るまで 無い寿命 忘れえぬ 人はいるけど 名を忘れ 土地もある 家もあるけど 居場所なし 我が家にも 政権交代 夢に見る 起きたけど 寝るまで特に 用はなし おじぎして 共によろける クラス会 投稿 いむけん

不用品片付けいたします! 家具やリサイクル家電の処分・遺品整理等 (株)鈴木商店 産業廃棄物収集運搬業 TEL:090-8856-6633

【投稿記事大募集】 読者の皆様の投稿をお待ちしております。趣味や体験談、俳句などジャンルは問いません。ペットのお写真も大歓迎です! 採用の場合はご連絡いたします。メールまたはFAXにて! 直接お持ちいただいても構いません!! FAX:045-459-6088

街かど談話室 まつばらんど 本誌掲載セミナーやイベントのお問合せ、お申し込みは下記まで! TEL 045-459-6088 または ma2baland@gmail.com (受付時間:10:00~16:00) 水曜定休 住所:保土ヶ谷区宮田町1-8-1 川元ビル1階 *開催するすべてのイベント等は、コロナ感染症対策を講じておこなっております。



脳を動かそう 四字熟語 何事にも他人の言いなりになり従うさま。 人前や周囲のことを考えず勝手なふるまいをすること。 行列のできる店はいつもこんな状態。(正解は来月号で)

空き家セミナー



11月20日(土) 予約制 午前10:30~12:00 参加費無料・先着5名様限定

- 空き家を放置した場合の問題点
空き家と税金の問題
空き家の相続
地方に所有する空き家の対処法

会場:まつばらんど セミナーの後、個別相談に応じます

劣化です。これらは、やがて重リスクとなる可能性を秘めています。第二には税金問題です。空き家になっても固定資産税等の負担はなくなりませんし、行政から特定空き家と判断されれば、小規模住宅用地特例から除外され、固定資産税等の負担が増す可能性もあります。これは他人事ではないということです。このような空き家問題を一緒に考えてみませんか。

どこに相談したらいいかわからない? 専門家による暮らし全般無料相談 *初回無料

- 弁護士相談[家庭内・借金・トラブル]
司法書士相談[遺言書・名義変更]
税理士相談[税金・申告・相続]
総合コンサルタント[借地・相続・不動産]



予約受付:045-459-6088

SDGsってなんだろ?!

最近よく聞く言葉に「SDGs」があります。これは、この地球を二〇三〇年までに持続可能でより良い世界にすることを目指す国際目標の略で、Sustainable Development Goals (SDGs)です。

二〇一五年九月に国連サミットで加盟国の全会一致で採択されました。この目標は十七のゴールで構成され、目標一つずつ、十七に色分けされました。地球上で持続可能な多様性と、すべてを包み込んだ社会を実現し、「誰一人取り残さない」ことを掲げて宣誓されました。

SDGsは発展途上国のみならず、世界各国、そして我が国も国家的な取り組みを行っています。日本政府は二〇一六年に総理大臣を本部長とする「SDGs推進本部」を設置しました。

そして具体的な取り組み加速のため、全庁による施策を盛り込んだ「SDGsアクションプラン」を毎年策定し国内における実施を推進しています。

しかしそれだけでは目標達成は困難です。地方公共団体、企業や市民社会、そして国民一人ひとりに至るすべてに行動が求められています。

政府は二〇一七年から「ジャパンSDGsアワード」として、達成に向けた取り組みを行っている企業、団体などを表彰しています。これは取り組みを「見える化」し、より多くの行動を促す狙いがあります。さらに、政府は二〇一八年から「SDGs未来都市」を選定しています。これはSDGsを原動力とした地方創生を推進するためのものです。

十七のゴールの一部を紹介すると、ゴール三の「すべての人に健康と福祉を」では、日本の保健、医療人材、知見および技術を活用し、公衆衛生危機・災害等に対する強靱な国際健康安全保障体制の構築に向けた取り組みをすすめています。

ゴール四の「質の高い教育をみんなに」では、平和と成長の*



かどくらさんちの 今月のペット マロンくん

- 年齢: 8ヶ月
趣味: なんでも噛み噛み
性格: やんちゃ
主人の一言: 癒されています



*ための学びの戦略と称し、国際的・地域的な教育ネットワークの構築と拡大を掲げています。

「ゴール五の『ジェンダー平等を実現しよう』」では、①女性の権利の尊重・脆弱な状況の改善②女性の能力発揮のための基盤整備③政治、経済、公共分野への女性の参画を掲げています。『ゴール十一の『住み続けられるまちづくり』』では、緊急支援、防災対策、災害復旧復興に取り組んでいます。

二〇二〇年、新型コロナウイルス感染症が瞬く間に地球規模で拡大しました。グローバル化が進んだ現代において、コロナのみならず国境を超えた危機、地球に影響を及ぼす問題は山積しています。

SDGs達成の道のりは決して容易ではありませんが、私たち一人一人に実践できることをしっかりと考えて行動する姿勢が求められています。

編集長 古垣直久

日本のお城シリーズー丸岡城(福井県)

国内旅行業務取扱管理者 河内恒雄

日本には中世以降、岩や柵などと呼ばれたものを含めると数々の「城」があったとされています。時代が下り単に防御のためだけではなく、私たちが今イメージする施政の中心、権威の象徴としての城が出現します。

城というとなまず天守閣が思い浮かびます。現在、復元・復興・再建等何らかの形で天守閣がある城は百近くになります。そのうち明治以前に建てられた天守閣がそのまま残っているのは僅か十二城で、姫路城、松本城、犬山城、彦根城、松江城の五城は国宝、その他七城は重要文化財でこれらを合わせて「残存十二天守」と呼びます。明治に入り多くの天守が廃却されてしまいましたがそれでも太平洋戦争直前には七十を超える天守が残っていたのですがその多くが戦火で焼失してしまっただけは大変残念です。

丸岡城(福井県坂井市)はその残存十二天守の一つで、二層三階の小さな天守を持つ平地に築かれた平城です。柴田勝家の創建で現在の物は江戸初期に建て替えられたものですが最古の様式を備えた城です。この城にまつわるエピソードとしては日本一短い手紙として有名な「一筆啓上、火の用心、お仙泣かすな馬肥やせ」が良く聞く話でしょうか。



後に初代丸岡藩藩主になる本多成重の父、本多重次が戦場から妻に宛てた簡潔ながら家族を思う心が溢れた手紙で、この「お仙」が成重の幼名仙千代です。丸岡城には、この最も短い手紙を刻んだ碑が立っています。手紙文化の発信基地として丸岡町では平成五年から心のこもった日本一短い手紙文のコンクール「一筆啓上賞」を行い、

毎年「お題」を決めて日本一短い手紙を募集しています。今回から順次、「お題」ごとの入選作を紹介してまいります。

日本一短い「母」への手紙

「おふくろ、死ぬなよ。いいというまで死ぬなよ。」(大阪府28歳男性)
親孝行が全部終わるまで死ぬなよ。」(大阪府28歳男性)

日本一短い「父へ」の手紙

「お父さんのすこいびき、止まるとドキッとすると。長生きしてね、お父さん」(福島県 14歳女性)

日本一短い「大切なもの」への手紙

「金もない 仕事もない 若くもない 何も無いってあるじゃん いのちが」(埼玉県 30歳女性)



私の出会った映画「てんびんの詩」(後編)

上田春男

そんなある日、農家の井戸の洗い場に浮かんでいる鍋をぼんやり見つめながら、疲れ切った頭で「大ちゃん」は考えました。

「鍋の蓋がなくなったら困るやろな。困ったら買ってくれるかもしれん。次の瞬間に「この鉄鍋も誰かが難儀して売ったものかもしれん」と思ったのです。無意識のうちに「大ちゃん」は鉄鍋を手に取り洗い始めます。井戸に戻ってきた鍋の持ち主の女が不審に思い尋ねます。「なぜそんなことしてるのかと」。

「大ちゃん」はその場に手をつけて謝る。「堪忍してください。わし悪いです。鉄蓋が売れんかったんやないんです。わしはモノを売る気持ちもできてなかったんです。女は「大ちゃん」の涙をぬぐいながら、「その鉄蓋を売ってくれ」というのだった。

「おばちゃん、今なに言った?」「鍋蓋買ってやる。売って欲しい、言うたんや!」実に感動的なシーンです。

こうして初めて鍋蓋を売ることが出来ました。その時の会話です。

「大ちゃん」はやつと物を売るといことがどういことか、お客さんが買ってくれるということがどういことかを知ったのです。そして述べながら映画は終わります。

「大勢の方のお陰で一人前にさせて頂き感謝しております。」

「てんびんのように売り手の心と買手の心が釣り合ったところに」

本日の商売が成立する、それがこの映画の題名の由来です。商人の原点、私はいつも迷うこの映画を見ます。



まつばらんど

行事回顧録(3)



天王町保育園 きりん組 アート作品展



八月十六日から八月三十一日の期間、天王町保育園の理事長様のご協力をいただき園内に展示されていた、きりん組の貼り絵作品をお借りし、「貼り絵展」を開催しました。

お魚さんなど園児の思い思いの貼り絵がとてもかわいらしく通りすがりの方も微笑んで覗いていかれました。最終日の三十一日には作品を描いた小さな画伯たちが、先生に引率されわが作品を観覧していただきました。

介護セミナー

介護が必要となったとき



九月十六日に介護福祉士の水野牧子さんによる「介護セミナー(テーマ:介護が必要となったとき)」を開催しました。第一回は介護の心構えを中心に家族と本人との向き合い方、近隣との共助、役所との連携などをお話しいただきました。

参加者との活発な質疑も行われ、意義あるセミナーでした。今後も開催予定です。



安岡 伸の スマホ入門講座

11/26(金)10:30~12:00

~ 講座内容 ~ 予約制・先着5名様

スマホの基本操作・文字入力・編集・コピーペースト・LINEの使い方・ネット検索など!

料金: 初めの方無料 リピーター500円

ご予約: 045-459-6088 まで!